

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		神山 靖彦		所 属		理学部 数理科学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケートで、説明が丁寧で内容に興味を持てたと評価されるようにする。 幾何の講義で、ここで説明したことが私の研究内容にどう発展していくか概説する。 卒業研究の指導教員として、就職活動や教員・公務員試験対策などに積極的に取り組むよう指導する。 				0.40	<ul style="list-style-type: none"> 数学序論の授業評価アンケートで、「定理の証明など、解説が丁寧なので、復習をするときにポイントが理解しやすかった」と書かれた。 幾何の授業評価アンケートで、「具体的な例を多く挙げていて頭に入りやすく、幾何に対する興味が深まった」と書かれた。 安易な気持ちで教育実習に行かないよう指導した。ゼミ生が県内中学校で教育実習した際は、研究授業に出席し担当教諭と情報交換を行った。 				
研究	0.40	ロボット運動の配置空間に関する論文を執筆し、国際誌に投稿する。				0.40	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間5年度(平成27年度～31年度)の科学研究費補助金を獲得した。平成9年度から23年度続けて、分担者なしの研究代表者として採択され続けていることになるので、これからも頑張りたい。 ロボット運動関係の論文を2本執筆し、国際誌に出版した。 				
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌GeometryとScientific World Journalのエディターを継続して行う。 国際誌から依頼されたレフェリーを行う。 				0.10	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌GeometryとScientific World Journalのエディターを継続して行った。 国際誌から依頼されたレフェリーを4本行った。また、レフェリーに回すだけの価値があるかという、投稿初期のアセスメントを2本行った。 				
管理運営	0.10	代議員として学部、学科運営に貢献する。				0.10	<ul style="list-style-type: none"> 代議員として学科長を補佐しつつ、学部・学科運営に貢献した。 理学部予算編成検討部会委員として、理学部の予算編成を行った。 研究推進課に依頼され、科研費申請支援アドバイザーとして活動した。過去の科研費計画調書を、モデルとして学内webで閲覧できるようにした。 				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		前田高士	所 属		理学部 数理科学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.25	2年次代数、微分積分学ST,卒業研究及び大学院ゼミにおいて、基礎的な事柄を確実に習得させる。		0.25	今年度も授業とゼミで忙しかった。大学院のゼミでは洋書1冊を ほぼ最後まで読むことができた。卒業研究はゼミ生が後半がんばった。2年次代数では結果的に実力の差がついたようである。微分積分学STでは、後学期の出席率が例年より良かった。
研究	0.25	べき零変換、ヤング図形に関する研究を継続する。		0.25	研究時間を断続的にしか取れなかった。5月、論文を投稿した。
社会 貢献	0.15	8月、教員免許更新の講義を行う。		0.05	受講者との休憩時間の雑談から判断すると成功したと思う。
管理 運営	0.30	管理運営の仕事を滞りなく行う。		0.40	法人評価の提出文書の作成に予想以上の時間を費やした。
進路 指導	0.05	4年ゼミ生および大学院生の進路指導を行う。		0.05	4年ゼミ生の教育実習(中学)を参観した。ゼミ生は卒業後それぞれの進路を進むことになった(院進学、教員採用試験準備)。大学院生に対して進路の助言を行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 学外公表に同意しない。 学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		須藤 隆洋	所 属		理学部 数理科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.40	微分積分学ST、解析学序論、解析学、及び卒業研究の準備。卒業研究、4年次懇談会等における進路指導。ゼミ生の研究授業への参加。			0.40	微分積分学ST、解析学序論、解析学III、IV、及び卒業研究の準備を行った。卒業研究、4年次懇談会等における進路指導を行った。ゼミ生の研究授業への参加をした。		
研究	0.40	論文の投稿と論文の評論。また、依頼または必要に応じて研究発表を行う。			0.40	論文の投稿は、4編であった。論文の評論は、EMSのZ MATHが6編であり、AMSのMATH Reviewは1編であった。また、依頼または必要に応じて研究発表を行う予定であったが、なかった。		
社会 貢献	0.10	論文の掲載と研究発表。			0.10	論文の掲載は、査読付き1編が出版され、査読無し1編が出版された。さらに、電子版2編が出版され、電子版1編が掲載予定となった。研究発表はなかった。		
管理 運営	0.10	担当する委員会の委員及び4年次指導教員として貢献。			0.10	担当する委員会の委員、理学部紀要編集委員、22大学委員等として、及び4年次指導教員として貢献した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		陳 春航	所 属		理学部 数理科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	共通科目「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「統計学」、「数学序論演習Ⅰ、Ⅱ」、「基礎ゼミⅠ、Ⅱ」の講義及び専門科目「卒業研究Ⅰ、Ⅱ」を通して4年次学生を指導する。大学院専門科目「数理統計学」、「数理科学特別研究Ⅰ、Ⅱ」、「数理科学講究Ⅰ、Ⅱ」、「数理科学特別研究Ⅰ、Ⅱ」、「情報数理学特別講義Ⅰ、Ⅱ」の講義。			0.40	予定通りに実施した。		
研究	0.40	極値統計による津波や台風に関する研究、講演、論文投稿			0.40	津波や台風発生リスクに関する論文は投稿中		
社会 貢献	0.10	アクチュアリー資格取得のための指導、人材育成			0.10	予定通りに実施した。		
管理 運営	0.05	理学部広報委員会委員、OIMAP委員、日韓共同理工系学部留学生実施委員として貢献			0.05	予定通りに実施した。		
就職 指導	0.05	4年次学生、大学院生、特別プログラム留学生に対する就職指導			0.05	予定通りに実施した。さらに、1年次指導教員として、1年生に対して、勉強などの指導を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		菅 修一	所 属	理学部数理科学科	職 名	准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.50	情報科学演習, 計算機概論 I で HTML5 対応にテキストを改訂する。演習系の講義のテキストを Web におく。3年次指導教員として, インターンシップ・介護実習に対する指導と, 4年次卒業研究配属に対する指導をする。卒研生の進路指導をする。		0.50	情報系講義の講義テキストは, 内容を更新して Web に置いた。インターンシップの指導を行い, 報告書を書いた(数理事務に提出済み)。新 4年次の卒業研究配属案を作成した。	
研究	0.10	Lie 代数の最高ウエイト表現の研究を続ける。ベキ零 Lie 代数の不変式環の研究をする。複素鏡映群の自然表現を多項式に持ち上げたときの既約分解をしらべる。		0.10	階数 3 の複素鏡映群の(1つを除く)すべての群について, 自然表現を多項式表現に持ち上げた時の既約分解を記述するプログラムを書いた。実鏡映群の Coxeter 元のベキが最長元になる条件を与えた。	
社会 貢献	0.10	教員免許更新講習を実施する。高校数学を考える会に出席し, 県内高校教育の発展に貢献するようにする。		0.10	8月1日に教員免許更新講習を実施した。5月22日に高校数学を考える会が宜野湾高校で行われ, 出席し, 入試における問題点等を議論した。	
管理 運営	0.30	図書館運営委員として, 教育・研究資料の充実に努力する。学科内のネットワークサーバーの管理をする。大学院生のコンピュータ環境を整備する。学科の図書委員として, 学術情報の整備に努力する。		0.30	学部図書館運営委員として, 学術雑誌の維持・削減の会議に出席し, 理学部に対してできる限りの貢献をしたつもりである。学科の Web サーバ, メールサーバの管理を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	木本一史		所 属	理学部 数理科学科		職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.40	本年度は微積分学ST(電気電子), 線形代数学演習(数理), 代数学(高年次選択)の講義・演習を担当する。低年次科目については基礎的事項の習得を重視する。代数学は代数学序論などで扱われない基礎事項を習得する機会としたい。卒業研究および修士課程学生の指導も適切に行う。		0.40	微積STでは前年度に引き続き毎回の小テストを実施した。次年度も継続してみる予定である。代数学では、前期に群論続論、後期に有限群の表現論を扱った。演習の時間を設け、学生の参加が促される試みとした。悪くない結果だったと思う。線形代数演習では、特に新1年次の学生が積極的に問題発表をしてくれたため苦労が少なかった。		
研究	0.40	科研費基盤C課題3年目(最終年度)である。非可換調和振動子のスペクトルゼータ関数および α 行列式に関する研究を推し進める。また昨年度後半よりCREST暗号数理の研究分担者でもあり、こちらの研究も進める。次年度の科研費獲得に向けた準備および応募を行う。		0.40	査読付き論文が1編出版された。また研究集会、学会、談話会などで成果発表の講演をいくつか行った。今年度が科研費の最終年度のため、新規で基盤Cの申請を行った。		
社会 貢献	0.10	学科のウェブページ更新を通じて、学科の活動などについて最新の情報をオープンにする。また日本数学会において地方区代議員および函数解析学分科会委員として学会活動に貢献する。		0.10	ウェブページを適宜更新した。地区代議員、関数解析学分科会委員としての仕事を行った。大きな問題はなかったと思う。		
管理 運営	0.10	本年度は学部委員として教育委員を、全学の委員としてアドミッション・オフィス員を担当する。委員としての業務を着実に遂行する。		0.10	教育委員、アドミッションオフィス委員としての仕事を行った。理学部代表として高校に出向き理学部を紹介する機会を多く持ったが、高校に応じて紹介内容をアレンジする必要性に気づかされた。次年度に生かしたい。		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		林 正史	所 属		理学部 数理科学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.40	前学期:確率過程論I(火3), 基礎ゼミ(月2) 後学期:確率過程論II(火3), 基礎ゼミ(月2) 4年次卒業研究、大学院のアクチュアリーコースのゼミを担当する。		0.40	前学期:確率過程論I(火3), 基礎ゼミ(月2) 後学期:確率過程論II(火3), 基礎ゼミ(月2) 4年次卒業研究、大学院のアクチュアリーコースのゼミを担当した。			
研究	0.40	確率解析の研究を継続して行っていく。		0.40	確率解析の研究を行った。推移密度関数の連続性に関する結果を得ることが出来た。			
社会 貢献	0.00	なし		0.00	なし			
管理 運営	0.20	冠婚葬祭委員、3年次指導教員		0.20	冠婚葬祭委員、3年次指導教員、選挙管理委員の職務を行った。			
	0.00			0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		金子 譲一	所 属		理学部 数理科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.35	講義は、シラバスに書いたものを消化出来るよう特に時間配分に配慮して行う。修士2年の学生に関しては、修論完成のため十分な研究指導を行いたい。また2年次指導教員として、引き続き修学指導等をおこなう。		0.35	シラバスはおおむね消化できた。修士の修論もほぼ完成した。2年次の指導教員として必要な修学指導をおこなった。			
研究	0.35	Koorwinder多項式とq-Selberg積分に関する論文に推敲を加え、然るべき雑誌に投稿する。		0.35	Koorwinder多項式とq-Selberg積分に関する論文は、現在修正と内容の追加を行っていて、投稿は来年度にずれ込む見込みである。			
社会 貢献	0.00			0.00				
管理 運営	0.30	委員会委員として業務を遂行する。		0.30	委員会委員として業務を遂行した。			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		佃 修一	所 属	理学部 数理科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	学生が自分の頭で考える習慣を身につけることが出来るようつとめる。 卒業研究のゼミ生中2名は教員、2名は大学院進学を希望しているため、数学の力をつけることを主眼に指導したい。 また、修士の学生に対し修士論文作成に向けた指導を行う。		0.30	担当している講義において、学生に演習問題を解くことを義務付けることを試みた。例年に比べ、考えるという習慣を身につけさせることが出来た部分もあるように思うが、学生がより自主的に取り組むような方法を検討したい。	
研究	0.55	昨年から新たな研究テーマへの取り組みを開始しており、その研究を推進する。また従前から研究も引き続き遂行する。 科研費に応募する。		0.55	新たな研究テーマに関する論文がまもなく国際誌に受理される見込みである。 科研費に応募した。	
社会 貢献	0.05	教員免許更新講習に協力する。		0.05	教員免許更新講習を開講した。	
管理 運営	0.10	研究推進委員会委員として学部、学科運営に貢献する。 また教務委員として学科運営に貢献する。		0.10	教務委員として学科運営に貢献できたように思う。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		杉浦 誠	所 属		理学部 数理学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.60	担当する共通教育、学部および大学院の授業を適正に行い、公正に評価をする。2年次の指導教員として適切な進路指導を行う。アクチュアリーコースを中心とした学部4年次の学生および博士前期課程の大学院生の指導を適切に行う。			0.60	担当した共通教育、学部および大学院の授業を適正に行い、公正に評価をした。2年次の指導教員を適正に行えた。アクチュアリーコースを中心とした学部4年次の学生および博士前期課程の大学院生の指導を適切に行った。		
研究	0.10	確率過程、特に流体力学極限に関する研究を行い、成果が出れば発表する。			0.10	アクチュアリー関連の数理の勉強に終始してしまい、成果は出せなかった。		
社会 貢献	0.10	教員免許更新講習などを行う。			0.10	教員免許更新講習を適正に行った。九州算数数学教育大会に出席し、指導助言を行った。		
管理 運営	0.20	自己評価委員およびその他の委員を担当し、適正に活動する。			0.20	自己評価委員等を概ね良好に行えた。現況調査表作成のワーキンググループでは理学部及び理工学研究科の教育の水準についての一部を担当しており、作成中である。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		眞野 智行	所 属		理学部 数理科学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.35	共通教育科目の微分積分および1年生向けの基礎ゼミ、専門科目の解析学、4年生・大学院生のゼミ指導等を担当する。初学年に対しては基礎学力の定着を目指し、高学年に対しては基礎学力の確認とその実践的能力の習得および専門知識を身につけることを目標とする。また、大学院の就職指導教員に当たっているので就職情報の周知等により就職活動を支援していきたい。		0.35	講義では時間配分がうまく行って比較的丁寧に説明を述べる事ができた。大学院生の研究指導についても特に問題なく進んだ。
研究	0.35	科研費採択課題である「線形微分方程式の解の大域挙動とモノドロミ保存変形に関する研究」について引き続き研究を行う。学内および学外研究者との共同研究に関する成果がまとまってきているので、その内容について論文発表および学会発表を中心に活動したい。		0.35	共同研究の結果について多くの学会・研究会で発表を行う事ができた。また論文をいくつか執筆し、国際学術誌に投稿した。
社会 貢献	0.05	教員免許状更新講習を提供する予定である。現職教員を対象として数学のより進んだ内容について講義することにより、教科内容について広い視野を持ってもらうことを目標としている。		0.05	教員免許状更新講習を行った。「九州算数数学教育大会」に出席し、授業研究について指導助言を行った。
管理 運営	0.25	学士教育プログラム委員とOIMAP委員を担当する。学士教育の質の向上を目標に運営に支障が生じることのないように取り組みたい。		0.25	委員会活動について特に滞りなく業務を遂行することができた。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	